

# 地域ネットワーク部会

平成26年1月10日

全体目標

がんにより死亡する人の減少  
がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万人当たり)を平成29年  
度までに20%減少させる。

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の  
質の維持向上

部会  
が担  
当する  
分野  
の課  
題と目  
標

## 【目標】 住んでいる地域にかかわらず県民が希望する医療を受けられる。

中期目標：2015年までにすべての病院・施設がパスについて知識をもち、  
各医療機関の医療資源を把握し、有効活用する

最終目標：2018年までに県民が希望する医療を受けられるよう、患者の意見を  
聞き、希望するすべての患者にパスを適用し、地元の施設に係る患者の増加、拠  
点病院の集中化解消を行う。

指標：パス患者適用率

測定方法：拠点・支援病院のパス対象  
患者数・適用患者数の件数を合算、分析

指標：パス患者適用率

測定方法：拠点・支援病院のパス対象患者  
数・適用患者数の件数を合算、分析

施策毎  
のアウト  
カム目  
標

【アウトカム目標1】  
医療者、行政などから  
医療機関の機能や役割  
が見え医療資源が適切  
に有効活用される。

【アウトカム目標2】  
2014年6月  
までに、離島、  
院内、かかり  
つけ施設、  
一般向けに  
研修会を行う

【アウトカム目標3】  
2015年3月までに  
院内がん登録デー  
タを収集し、院内  
がん登録データを  
用いて症例区分を  
集計する。

【アウトカム目標4】  
2015年3月まで  
に各地区医師  
会とのコミュニ  
ティの場を設定  
し、沖縄県のが  
ん医療連携に  
おける課題・要  
望を把握する。

【アウトカム目標5】  
2015年6月  
までに私のカル  
タを配布  
版)を配布  
及びHPに  
公開する。

【アウトカム目標6】  
2014年3月  
までに、術  
後以外のパ  
スを作成し、  
4月に研修  
会を行う

【アウトカム目標7】  
2015年3月までに肺  
がん10人、胃がん  
30人、肝がん10人、乳  
大陽がん60人、乳  
がん120人、沖縄県  
内でがん地域連携  
クリティカルパスを  
適用する

【アウトカム目標8】  
2015年3月  
までに前立  
腺がん10  
人、沖縄県  
内のがん  
地域連携  
クリティカ  
ルパスを適  
用する

【アウトカム目標9】  
2015年3月ま  
で1人に緩  
和ケア関連  
の地域連携  
クリティカル  
パスを運用  
する

【アウトカム目標10】  
2015年3月  
までに小児  
がん・希少  
がん医療連  
携について  
検討を開始  
する

【アウトカム目標11】  
毎年、都  
会委員が  
発表する  
2015年3  
月までに  
論文を作  
成する

### 【アウトカム目標3】 地元の施設にかかると患者の増加

施策  
毎の  
アウト  
カム  
目標

【施策1】  
八重山・宮古・久米  
島・北部ではがん  
診療を行っている  
医療機関に、院内  
がん登録を用いて  
「症例区分(診断の  
み、診断+治療、治  
療開始後など)」を  
集計し、診療実績  
を明らかにする。

【施策2】  
がん地域連  
携クリティカ  
ルパス研修  
会を企画開  
催する。

【施策3】  
私のカルテ  
の改訂を行  
う。

【施策4】  
がん診療連携  
の在り方を検  
討する

【施策5】  
胃がんと大  
腸がんの  
化学療法  
のパスを  
作成する。

【施策6】  
術後フォロー  
以外の前立  
腺がん地域  
連携パスを  
作成する

【施策7】  
肺がん、胃がん、  
肝がん、大腸がん、  
乳がんの地域連  
携パスの簡素化の  
改訂を行い、適用  
数を増やす。

【施策8】  
前立腺  
がん地域  
連携パス  
の、適用  
数を増や  
す

【施策9】  
症状緩和を  
目的とした  
緩和ケア関  
連の地域連  
携パスを緩  
和ケア部会  
と合同で作  
成・運用する

【施策10】  
小児がんは  
WIG開催し、  
希少がんは  
WIGを設置  
する

【施策11】  
地域ネット  
ワーク部  
会の活動  
を学会報  
告および  
実績を論  
文化する

施策  
アクション  
プラン

【施策1】  
八重山・宮古・久米  
島・北部ではがん  
診療を行っている  
医療機関に、院内  
がん登録を用いて  
「症例区分(診断の  
み、診断+治療、治  
療開始後など)」を  
集計し、診療実績  
を明らかにする。

【施策2】  
がん地域連  
携クリティカ  
ルパス研修  
会を企画開  
催する。

【施策3】  
私のカルテ  
の改訂を行  
う。

【施策4】  
がん診療連携  
の在り方を検  
討する

【施策5】  
胃がんと大  
腸がんの  
化学療法  
のパスを  
作成する。

【施策6】  
術後フォロー  
以外の前立  
腺がん地域  
連携パスを  
作成する

【施策7】  
肺がん、胃がん、  
肝がん、大腸がん、  
乳がんの地域連  
携パスの簡素化の  
改訂を行い、適用  
数を増やす。

【施策8】  
前立腺  
がん地域  
連携パス  
の、適用  
数を増や  
す

【施策9】  
症状緩和を  
目的とした  
緩和ケア関  
連の地域連  
携パスを緩  
和ケア部会  
と合同で作  
成・運用する

【施策10】  
小児がんは  
WIG開催し、  
希少がんは  
WIGを設置  
する

【施策11】  
地域ネット  
ワーク部  
会の活動  
を学会報  
告および  
実績を論  
文化する

ワーク  
シート1  
で導き  
出され  
た対策  
項目

【対策項目1】  
医療者、行政など  
すべてに対する  
情報不足の解消

### 【対策項目2】 地元医療施設での治療の促進